

株式会社 レイテック

〒101-0025 東京都千代田区
神田佐久間町 1-9 第7東ビル 7階
TEL: 03-5577-5898 / FAX: 03-5577-5899



RAYTEC Co., LTD.

7F Dai7-Azuma-Bldg, 1-9 Kanda-Sakumacho,
Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0025 JAPAN
TEL: +81-3-5577-5898 / FAX: +81-3-5577-5899

E-mail: info@raytec.co.jp URL: http://www.raytec.co.jp/
内外国特許調査・解析／特許・技術情報に関する各種コンサルティング／各種情報処理
Intellectual Property & Assistance of Technical Development Related Services

2016年〇月〇日

〇〇〇〇〇 御中

株式会社レイテック
責任者: 〇〇 〇〇
担当者: 〇〇 〇

「平成 28 年度中小企業等特許情報分析活用支援事業
特許情報分析報告書(③審査請求段階)」

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、ご依頼の特許調査に関しまして下記のとおり調査が終了いたしましたので、ご報告申し上げます

敬具

記

【調査対象】

貴社整理番号	〇〇〇〇〇	調査の名称 (発明の名称)	〇〇〇〇〇
弊社整理番号	〇〇〇〇〇		
出願番号	〇〇〇〇〇		
出願日	〇〇〇〇〇		
調査請求項	〇〇〇〇〇		
出願人名	〇〇〇〇〇		
発明者名	〇〇〇〇〇		
代理人名	〇〇〇〇〇		
受注日	〇〇〇〇〇		
入金確認日	〇〇〇〇〇		

【調査範囲】

調査目的	先行技術調査
調査資料	国内特許・実用新案、WO、US 特許、医学学術文献
調査期間	1971/01/01～2015/05/29(出願日基準)
使用データベース	日立 SRPARTNER, PubMed
検索式	<p>1) 国内特許(公開)・実用新案</p> <p>1, 要約+請求+発明名, * * * * * * * * * * * * * * *, 1487 件</p> <p>2, 更新 F I, * * *, 677 件</p> <p>3, 更新 F ターム, * * * * * * * * * * *, 1186 件</p> <p>4, 要約+請求+発明名, *, 590984 件</p> <p>5, 更新 F I, B01D11/, 3948 件</p> <p>6, 更新 F ターム, * * * * * * * * * * * * * * * * *, 10141 件</p> <p>7, 要約+請求+発明名, *, 121453 件</p> <p>8, 請求の範囲, アセトン+* *, 115698 件</p> <p>9, 要約+請求+発明名, *, 93675 件</p> <p>10, 更新 F I, * * * * *, 47914 件</p> <p>11, 更新 F ターム, *, 18585 件</p> <p>● 検索論理式: (1+2+3)*((4+5+6)*(9+10+11)+(7+8))=323 件</p> <p>12, 本文全文, (* *)near30(* *), 22 件</p> <p>● 検索論理式: 12=22 件</p>

	<p>式 11: **/**:*****</p> <p>式 11: **/**:*****</p> <p>式 11: **/**:*****</p> <p>※近傍検索説明</p> <p>1)国内特許</p> <p>式 12、13:near30:順不同 30 文字以内の近傍検索</p> <p>式 17:near10:順不同 10 文字以内の近傍検索</p> <p>2)海外特許</p> <p>式 4:near10:順不同 10 ワード以内の近傍検索</p> <p>式 5:near30:順不同 30 ワード以内の近傍検索</p> <p>式 8:near3:順不同 3 ワード以内の近傍検索</p>
--	--

【調査結果】(【抽出文献】)

*****に関して国内特許505件、海外特許388件、非特許文献155件を検討し、9件抽出いたしました。			
抽出文献の評価	抽出文献の名称及び関連箇所	関連する請求の範囲	コメント
B	<p>文献1: 特表**「*****」</p> <p>【請求項6】*****を備える方法。</p> <p>【0018】*****に抽出した。・・・</p> <p>【0031】*****を用いて行なわれた。</p>	1-4, 6-8	<p>*****する方法。</p> <p>・本件との相違点は***すること。2) 特定成分(**)の分離。3) 用途が*****。これらの相違点によりB判定とした。</p> <p>詳細な発明部分に1900年代に行われた***の文献が紹介されている。*****の文献を文献3として抽出した。</p>
B	<p>文献2: ***, J Agric Food Chem. 2002 ** *;50(26):7616-21. 「*****」</p> <p>【abstract】*****.</p>	1-3	<p>*****を調べている。</p> <p>・本件との相違点は、*****、2) 水又は**で**されない成分かどうか不明である点。この相違によりB判定とした。</p>
B	<p>文献3: ***, -Wiss. u. -Technol., 30, 748-753 (1997)</p> <p>「*****」</p> <p>【abstract】*****.</p> <p>http://www. *****_sb.pdf</p>	8	<p>*****を調べている。</p> <p>・本件との相違点は、***でない点。この相違によりB判定とした。</p>
B	<p>文献4: 特表*****「*****およびその製造方法」</p> <p>【0047】*****が生じ得る</p>	10	<p>*****の抑制作用がある。</p> <p>・本件との相違点は***点。この相違によりB判定とした。</p>
B	<p>文献5: ***, 2014 Mar;29(1):167-73. 「*****」</p> <p>【abstract】*****.</p>	10	<p>*****が関与している。</p> <p>・本件との相違点は、***はない点。この相違によりB判定とした。</p>

C	文献6：*** Aug;56(8):643-7.「*****」 *****.	1	・*****に抗生物作用。 ・本件との相違点は*** **.******の詳細は不明。
C	文献7：特開*****の製造方法」 【請求項1】*****の製造方法。	1-4	・*****する方法。 ・本件との相違点は*** **ていること。2) ** ***による抽出。3) 目的が*****であって *****ではないこと。
C	文献8：特開*****「*****」 【請求項1】 *****ための組成物。 【請求項2】 *****を特徴とする、前記組成物。	1-3,7	・*****で抗アレルギー。 ・本件との相違点は1) * *****出。2) *****。 3) 目的が*****。
C	文献9：特開*****「*****含有組成物の製造方法」 【解決手段】 *****含有組成物を得る。	8	・*****する方法。 ・*****である点为本件とは異なる。
<p>・本発明は*****に関します。</p> <p>・本発明は*****です。これらについて厳密に同じ文献は見出されませんでした。</p> <p>・文献1-3は*****に類似性のある文献です。そのうち、文献1-2は*****、文献3は***** **している文献です。その他、参考として***** (文献6)、***** (文献8) による*****、 又は***** (文献7) を抽出しました。</p> <p>・***** (文献4) 及び***** (文献5) については公知ですが、これらの作用が*****であれば 新知見である可能性があります。そのためには物質を同定し、新規物質かどうか確認することが必要と考えられます。</p> <p>・なお、本発明の*****については関連文献は見つからず、新規性があると考えられますが、公知の*** **と分離する必要があると考えられます。</p>			
<p>抽出文献の 카테고리</p> <p>「A」: 同一あるいは非常に類似</p> <p>「B」: 類似</p> <p>「C」: 関連情報</p>			

1. 添付資料

- 1) 抽出文献一覧 —— 1部
- 2) 抽出文献 —— 1式

以上